



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社
コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 哲男
問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー (氏名) 須田 恵太

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の業績(平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	601	22.0	313	78.6	315	78.0	190	60.0
27年6月期第3四半期	492	—	175	—	177	—	119	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	29.46	—	—	—
27年6月期第3四半期	18.41	—	—	—

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
28年6月期第3四半期	2,275	2,113	2,113	1,938	92.9	326.33	326.33	
27年6月期	2,056	1,938	1,938	1,938	94.3	299.37	299.37	

(参考)自己資本 28年6月期第3四半期 2,113百万円 27年6月期 1,938百万円

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年6月期の業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	778	15.9	365	49.4	365	48.6	216	36.5	33.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期3Q	6,476,400 株	27年6月期	6,476,400 株
② 期末自己株式数	28年6月期3Q	116 株	27年6月期	116 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期3Q	6,476,284 株	27年6月期3Q	6,476,325 株

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済の減速や株安の影響があり減速傾向にあるものの、旅行業界は原油価格の下落や訪日外国人によるインバウンド効果等に支えられ、企業収益は比較的堅調に推移しました。

当社主力事業であるアプリケーションサービス事業と関連性が高いインバウンド関連市場は、日本政府観光局によると、2015年度に日本を訪れた外国人旅行者数が前年度比45.6%増の2,135万人となり、初めて2,000万人の大台を超え、継続的に成長しております。

このようなインバウンド関連市場の拡大を受け、当社の顧客である宿泊施設は、客室稼働率や客室単価の上昇により売上が増加し、積極的にIT関連投資、リニューアル、新規の出店を行う施設も増え、さらに、大手や異業種企業の新規参入による宿泊施設数の増加も見込まれます。

このような環境の中、アプリケーションサービス事業は『TEMAIRAZU』及び『手間いらず.NET』の契約施設数を順調に増やしたことにより、当社全体の業績を牽引して、当第3四半期累計期間の売上高は601,361千円（前年同期比22.0%増）となりました。また、営業利益は313,966千円（前年同期比78.6%増）、経常利益は315,396千円（前年同期比78.0%増）、四半期純利益は190,779千円（前年同期比60.0%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

1) アプリケーションサービス事業

宿泊予約サイトコントローラ『TEMAIRAZU』及び『手間いらず.NET』において、宿泊予約サイト及びメタサーチサイトとの連携による国内外の多チャンネルからの集客機能の強化を行いました。サイト連携については、当第2四半期累計期間における3社に加え、1月には多数の予約サイト及びホテル直営サイトからの料金を一括で比較できるメタサーチサイト『ホテルズコンバインド』、3月には沖縄県の宿泊施設に特化した宿泊予約サイト『OneTwoSmileHOTEL』と連携しました。

このサイト連携の開発に加えて、宿泊施設のニーズに合った簡単でシンプルな操作性やユーザビリティ向上による幅広いユーザー層の取り込みや、イールドマネジメント機能の拡充のためのシステム開発を行いました。

営業面では、全国での営業展開に加え、地域密着型のきめ細やかな営業活動の強化を行い、2月には大規模イベントである国際ホテル・レストラン・ショーへの出展、地方都市の展示商談会等への積極的な出展も行いました。

前述のように市場環境が改善していることと、『TEMAIRAZU』及び『手間いらず.NET』の新たなサイト連携とユーザビリティ向上に加え高付加価値なイールドマネジメント機能の拡充、積極的な営業展開により、新規の契約施設数の増加や既存施設の『TEMAIRAZU』へのバージョンアップが行われ、売上高が堅調に推移しました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は530,614千円（前年同期比22.8%増）となり、セグメント利益は357,751千円（前年同期比60.3%増）に増加しました。

2) インターネットメディア事業

比較サイト『比較.com』において、組織再編やサイトの再構築などの構造改革を行い、売上高、セグメント利益ともに増加しました。

この結果、インターネットメディア事業の売上高は70,747千円（前年同期比16.7%増）であり、セグメント利益は27,663千円（前年同期比45.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は2,275,243千円となり、前事業年度末に比べ218,707千円増加いたしました。主な要因は、現預金200,907千円の増加であります。

当第3四半期末の負債は161,860千円となり、前事業年度末に比べ44,118千円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等58,748千円の増加であります。

当第3四半期末の純資産は2,113,382千円となり、前事業年度末に比べ174,588千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の発生によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の通期業績予想については、平成27年8月13日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,884,492	2,085,399
売掛金	122,991	139,078
繰延税金資産	5,678	7,689
その他	8,689	12,369
貸倒引当金	△3,368	△3,809
流動資産合計	2,018,483	2,240,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	△2,167	△2,167
建物及び構築物 (純額)	-	-
その他	22,468	22,468
減価償却累計額	△14,016	△16,695
その他 (純額)	8,451	5,772
有形固定資産合計	8,451	5,772
投資その他の資産		
繰延税金資産	253	69
その他	34,037	33,716
貸倒引当金	△4,690	△5,042
投資その他の資産合計	29,600	28,743
固定資産合計	38,052	34,516
資産合計	2,056,536	2,275,243
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	49,255	108,004
その他	68,486	53,856
流動負債合計	117,742	161,860
負債合計	117,742	161,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	229,344	403,932
自己株式	△75	△75
株主資本合計	1,938,794	2,113,382
純資産合計	1,938,794	2,113,382
負債純資産合計	2,056,536	2,275,243

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	492,814	601,361
売上原価	54,686	49,673
売上総利益	438,128	551,688
販売費及び一般管理費	262,349	237,722
営業利益	175,779	313,966
営業外収益		
受取利息	440	882
還付加算金	213	-
その他	758	547
営業外収益合計	1,412	1,429
経常利益	177,192	315,396
税引前四半期純利益	177,192	315,396
法人税、住民税及び事業税	16,755	126,443
法人税等調整額	41,217	△1,826
法人税等合計	57,973	124,617
四半期純利益	119,218	190,779

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	432,168	60,645	492,814	—	492,814
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	432,168	60,645	492,814	—	492,814
セグメント利益	223,222	19,015	242,238	△66,458	175,779

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,458千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	530,614	70,747	601,361	—	601,361
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	530,614	70,747	601,361	—	601,361
セグメント利益	357,751	27,663	385,414	△71,447	313,966

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,447千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。